別記様式第６号（規格Ａ４）（第６条）（表面）

**産業廃棄物処理施設整備計画書**

|  |  |
| --- | --- |
| 住所（法人の場合は所在地 | 〒 |
| 氏名（法人の場合は名称及び代表者名） |  印 |
|  資本金（出資金） |  千円 | 業 種 |  |
|  従　業　員　数 |  人 | 事業開始年月日 |  　　　　 年　　　月　　　日 |
|  業　務　内　容 |  |
|  連　　絡　　先 | 担当者氏名 電話 － － |
| 施設の概要 |  施設の名称 |  |
|  施設の種類 |  |
|  使用形態 |  処理業 指定 自己処理 その他 （ ） |
|  設置場所 |  |
| 着工・完工予定 |  年 月 日 ～ 年 月 日 |
| 施設の 用　途 能　力 構　造 |  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  施設の設置目的 |  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  施設設置に伴う 許可等(#1)の有無 |  有　 ・ 無（どちらかに○） |  有の場合は 許可等年月日 |  年　　　月　　　日 |
|

 ＃１　許可等：廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１５条の許可、又は、群馬県廃棄物処理施設

 等の事前協議等に関する規程第２８条による設置等承認申請の承認

（裏面）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所要額 | 主　要　な　設　備　及　び　工　事　名 |  　　　　　見　　積　　額（円） 　　 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  合　　　　　　計 |  |
| 資金調達計画 | 　　　　区　　　　　分  |  　金　　額（千円） |  調　　達　　先 |
| 　産業廃棄物処理施設整備資金 |  |  |
| 　自 己 　　　資 金 |  |  |
|  そ　　の　　他　　資　　金 |  |  |
|  合　　　　　　　　　　　計 |  |  |
|  借 入　　　希　　　望 日 |  　　　年　　　月　　　日 |
|

【添付書類】

１　廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則様式第１８号の添付書類（参考２）中間処理施設

又は（参考３）最終処分場

２　見積書

３　施設への案内図

４　施設の配置図

５　施設の平面図、断面図、構造図、カタログ等施設の概要がわかるもの

６　県税納税証明書

７　融資対象施設の設置場所の状況（着工前）を示す写真

８　中小企業者等であることが証明できるもの（法人の登記簿謄本、従業員名簿等）

９　その他知事が必要と認める書類

　　①役員等に関する調べ

　　②誓約書

（参考２）

**中間処理施設**

**１ 中間処理施設の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設の種類 |  |
| 処理する廃棄物の種類 |  |
| 処理方法 |  |
| 処理能力 | 時間あたりの処理能力 |  　　　 ／時 |
| １日の稼働時間 |  　　　　時間／日　（　　　　時～　　　　時） |
| １日あたりの処理能力 |  　　　 ／日 |
| 保管施設 | 保管面積 |  ㎡ |
| 保管容量 |   |
| １日の搬入量 | 　　　　　　　　　　　　／日　　（搬入車両　　　　台／日） |
| 技術管理者職氏名（予定） |  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 処理責任者職氏名（予定） |  |

 注　処理責任者職氏名（予定）は、排出事業者が設置する自己処理施設の場合に記入すること。

**２ 中間処理後の産業廃棄物の処理方法**

|  |  |
| --- | --- |
| 産業廃棄物の種類 |  |
| 発生量 |  　　　　　　　　　　　　／日  |
| 処分方法 | 　　埋立処分　　海洋投入処分　　中間処理　　売却　中間処理、売却の場合は具体的な方法　 |
| 処 分 先 | 自己処理 | (処分場所) |
| 委託処理 | (処分業者名) |
| (所　在　地) |

**３　施設の構造基準適合状況（中間処理施設）**

 (1) 共通事項

|  |  |
| --- | --- |
| 構造耐力上の安全性 |  |
| 処理能力の設計計算 |  |
| 腐食防止の措置 |  |
| 飛散・流出の防止措置 |  |
| 騒音・振動の防止措置 |  |
| 排水処理施設の構造 |  |
| 処理能力に応じた廃棄物受入設備等 |  |
| 悪臭発散の防止方法 |  |

 (2) 汚泥の脱水施設

|  |  |
| --- | --- |
| 床又は地盤面 |  |

 (3) 汚泥の乾燥施設（機械乾燥）

|  |  |
| --- | --- |
| 排ガス処理施設 |  |

 (4) 汚泥の乾燥施設（天日乾燥）

|  |  |
| --- | --- |
| 天日乾燥床の構造 |  |
| 地表水の流入防止措置 |  |

 (5) 汚泥の焼却施設、廃プラスチック類の焼却施設、産業廃棄物の焼却施設

|  |  |
| --- | --- |
| 廃棄物定量供給装置 |  |
| 300℃以上で燃焼できる燃焼室 |  |
| 燃焼ガスの800℃以上２秒以上の滞留 |  |
| 外気と遮断された燃焼室 |  |
| 助燃装置 |  |
| 空気供給装置 |  |
| 温度連続測定記録装置 |  |
| 急冷装置 |  |
| 集じん機流入前の温度連続測定記録装置 |  |
| 高度のばいじん除去機能を |  |
| CO濃度連続測定記録装置 |  |
| ばいじん・燃焼灰燃焼灰分離排出設備 |  |
| 灰出し設備 |  |

 (6) 廃油の焼却施設（(5) に加えて）

|  |  |
| --- | --- |
| 流出防止装置 |  |
| 床・地盤面の構造 |  |

 (7) 廃油の油水分離施設

|  |  |
| --- | --- |
| 廃油の流出防止装置 |  |

 (8) 廃酸又は廃アルカリの中和施設

|  |  |
| --- | --- |
| 中和装置の概要 |  |

 (9) 廃プラスチック類・木くず・がれき類の破砕施設

|  |  |
| --- | --- |
| 集じん機・散水装置等 |  |

**４　施設の維持管理に関する計画書（中間処理施設）**

 (1) 共通事項

|  |  |
| --- | --- |
| 受け入れる産業廃棄物の性状の分析方法 |  |
| 受け入れる産業廃棄物の計量の方法 |  |
| 施設への産業廃棄物の投入量の管理の方法 |  |
| 産業廃棄物の流出等の異常時の対応の方法 |  |
| 施設の定期点検及び機能検査の方法 |  |
| 飛散の防止方法 |  |
| 流出の防止方法 |  |
| 悪臭発散の防止方法 |  |
| 害虫発生の防止方法 |  |
| 騒音の防止方法 |  |
| 振動の防止方法 |  |
| 構内の清潔保持方法 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 排水処理施設の点検方法 |  |
| 定期的な水質検査の方法 |  |
| 維持管理に関する点検、検査等の記録保存方法及び保存期間 |  |

(2) 汚泥の脱水施設

|  |  |
| --- | --- |
| 脱水機能の低下の防止方法 |  |
| 汚泥及び分離液の地下浸透防止方法 |  |

 (3) 汚泥の乾燥施設（機械乾燥）

|  |  |
| --- | --- |
| 乾燥温度の調整方法 |  |
| 排ガス処理施設の点検方法 |  |
| 定期的なばい煙検査の方法 |  |

(4) 汚泥の乾燥施設（天日乾燥）

|  |  |
| --- | --- |
| 乾燥床の定期点検方法 |  |
| 汚泥又は分離液が流出する |  |
| 汚泥又は分離液が地下浸透するおそれがある場合の措置 |  |

(5) 汚泥の焼却施設、廃プラスチック類の焼却施設、産業廃棄物の焼却施設

|  |  |
| --- | --- |
| ﾋﾟｯﾄｸﾚｰﾝ方式の投入の場合の常時均一に混合する方法 |  |
| 外気と遮断した状態で定量ずつ連続的な投入方法 |  |
| 燃焼ガスを800度以上に保つ方法 |  |
| 焼却灰の熱しゃく減量が10％以下になる焼却方法 |  |
| 運転開始時、炉温を速やかに上昇させる方法 |  |
| 運転停止時、炉温を高温に保ち燃焼し尽くす方法 |  |
| 燃焼ガスの温度を連続的に測定記録する方法 |  |
| 集じん器に流入するガスを200度以下にする冷却方法 |  |
| 集じん器に流入するガスの温度の連続的測定記録方法 |  |
| 排ガス処理設備、冷却設備のばいじんの除去方法 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 排ガス処理設備の維持管理方法(消耗品の交換時期等) |  |
| 排ガス中のCO濃度が100ppm以下になる燃焼方法 |  |
| 排ガス中のCO濃度の連続的測定記録方法 |  |
| 排ガス中のﾀﾞｲｵｷｼﾝ類濃度を一定以下にする焼却方法 |  |
| 排ｶﾞｽ中のﾀﾞｲｵｷｼﾝ類濃度の年１回以上の測定記録方法 |  |
| 排ガスによる生活環境保全上の支障の防止方法 |  |
| ばいじんと焼却灰を分離して排出し貯留する方法 |  |
| 火災防止措置方法及び消火設備の設置方法 |  |

(6) 廃油の焼却施設（(5)に加えて）

|  |  |
| --- | --- |
| 廃油の地下浸透防止方法 |  |
| 流出防止設備の点検法法 |  |
| 流出防止設備の異常時の対応方法 |  |

(7) 廃油の油水分離施設

|  |  |
| --- | --- |
| 廃油の地下浸透防止方法 |  |
| 流出防止設備の点検方法 |  |
| 流出防止設備の異常時の対応方法 |  |
| 火災発生時の防止方法 |  |
| 消火設備の点検方法 |  |

(8) 廃酸又は廃アルカリの中和施設

|  |  |
| --- | --- |
| 中和槽内のｐＨの測定方法 |  |
| 廃酸、廃アルカリ、中和剤の供給量の調整方法 |  |
| 廃酸、廃アルカリ、中和剤の混合状況の確認方法 |  |
| 廃酸、廃アルカリの地下浸透防止方法 |  |

(9) 廃プラスチック類・木くず・がれき類の破砕施設

|  |  |
| --- | --- |
| 粉じんの飛散防止方法 |  |
| 騒音の防止方法 |  |
| 振動の防止方法 |  |

（参考３）

**最終処分場**

**１　最終処分場の概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 処理能力 | 最終処分場の面積 |  　　　 |
| 埋立処分の用に供される場所の面積 |   |
| 埋立容量 | 廃棄物量 |   |
| 覆土量 |   |
| 合　　計 |   |
| 埋立予定期間 | 　　　年　　月　　日　～　　　　年　　月　　日（　　　年） |
| 操業予定時間 | 　　　　　　　　　　　時間／日　（　　　　時～　　　　時） |
| １日の搬入予定量 | 　　　　　　　　　　　　／日　（搬入車両　　　　台／日） |
| 埋立方法 |  |
| 覆土材確保の状況 | (確 保 量) |
| (確保方法) |
| (保管場所) |
| 技術管理者職氏名（予定） |  |
| 処理責任者職氏名（予定） |  |

 注　処理責任者職氏名（予定）は、排出事業者が設置する自己処理施設の場合に記

　 入すること。

**２　施設の構造基準適合状況（最終処分場）**

(1) 共通事項

|  |  |
| --- | --- |
| 構 造 基 準（共 通 事 項） | 当該計画における施設の概要 |
|  埋　立　地　の　周　囲　の　囲　い |  |
|  表　　　　　　　　　　　　　 示 |  |
| 地盤の滑りを防止し、又は最終処分場に設けられている設備の沈下を防止する必要がある場合は、適当な地滑り防止工又は沈下防止工 |  |
| 次の要件を備えた廃棄物の流出防止のための擁壁、堰堤その他の設備イ　自重、土圧、波力、地震力等に対して 構造耐力上安全であること。ロ　廃棄物、地表水、地下水及び土壌の性 状に応じた有効な腐食防止のための措置 が講じられていること。 |  |

(2) 管理型最終処分場

|  |  |
| --- | --- |
| 構 　造 　基 　準 | 当該計画における施設の概要 |
| 擁壁等の安定を保持するための必要と認められる場合は埋立地内の雨水等を排出する設備 |  |
| 水質検査を行なうための浸透水採取設備 |  |

(3) 安定型最終処分場

|  |  |
| --- | --- |
| 構 　造 　基 　準 | 当該計画における施設の概要 |
| 埋立地からの進出を防止することができる遮水工 |  |
| 保有水等を有効に集めることができる堅固で耐久力を有する構造の管渠等その他の保有水等集配水設備 |  |
| 保有水等を排水基準等に適合させることができる浸出液処理設備 |  |
| 埋立地の周囲には、地表水が埋立地の開口部から埋立地への流入するのを防止することができる開渠等その他の設備 |  |
| 廃棄物の展開検査を行なうための施設 |  |

**３　施設の維持管理に関する計画書（最終処分場**）

 (1) 共通事項

|  |  |
| --- | --- |
| 飛散防止土地 |  |
| 流出防止措置 |  |
| 悪臭飛散の防止措置 |  |
| 火災の発生防止措置 |  |
| 害虫の発生防止措置 |  |
| 囲いの維持管理方法 |  |
| 表示の維持管理方法 |  |
| 維持管理に関する点検、検査等の記録の保存方法及び保存期間 |  |
| 最終処分場周縁地下水の定期水質検査の方法 |  |
| 擁壁等の点検方法 |  |

 (2) 安定型最終処分場

|  |  |
| --- | --- |
| 浸透水の定期水質検査の方法 |  |
| 廃棄物の展開検査の方法及びその結果の記録の方法 |  |

(3) 管理型最終処分場

|  |  |
| --- | --- |
| 遮水工の点検方法 |  |
| 遮水効果の低下のおそれがある場合の措置 |  |
| 浸出液処理設備の維持管理方法 |  |
| 浸出液処理設備の点検方法 |  |
| 浸出液処理設備の異常時の措置 |  |
| 放流水の定期水質の検査の方法 |  |
| 埋立地への地表水の流入防止設備の維持管理方法 |  |
| 地下排水設備により採取した水の定期水質検査の方法 |  |

**４　最終処分場の災害防止計画書**

|  |  |
| --- | --- |
| 産業廃棄物の飛散防止に関する事項 |  |
| 産業廃棄物の流出防止に関する事項 |  |
| 公共の水域及び地下水の汚染防止に関する事項 |  |
| 火災の発生防止に関する事項 |  |
| その他最終処分場に係る災害防止に関する事項 |  |

**役員等に関する調べ**

|  |  |
| --- | --- |
| 住　　　　所（法人の場合は所在地） |  |
| 　　　　（法人の場合は名称及び代表者名） |  |
| 　　　　（生 年 月 日） | 住　　　　　　　　　所 |
| (　　年　 月　 日) |  |
| (　　年　 月　 日) |  |
| (　　年　 月　 日) |  |
| (　　年　 月　 日) |  |
| (　　年　 月　 日) |  |
| (　　年　 月　 日) |  |
| (　　年　 月　 日) |  |
| (　　年　 月　 日) |  |
| (　　年　 月　 日) |  |
| (　　年　 月　 日) |  |

|  |
| --- |
| 誓 約 書年　　月　　日　　 群 馬 県 知 事 　　様住所（法人等にあっては所在地）氏名（法人等にあっては法人名及び代表者名）　私は、下記の事項について誓約します。　なお、必要な場合には、群馬県警察本部に照会することについて承諾します。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記　自己又は自己の法人その他の団体の役員等は、次のいずれにも該当する者ではありません。　 (1)　暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号第２　　条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。） (2)　暴力団員（同法第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。） (3)　暴力団員によりその事業活動を実質的に支配されている者 (4)　暴力団員によりその事業活動に実質的に関与を受けている者 (5)　自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図り、又は第三者に損害を加える目的をもっ　　て、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている者 (6)　暴力団又は暴力団員に対して資金を提供し、又は便宜を供与するなど直接的若しくは積　　極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している者 (7)　暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを不当に利用している者 (8)　暴力団員と密接な交友関係を有する者 |
|

別記様式第１２号（規格Ａ４）（第１０条関係）

完了報告書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　群 馬 県 知 事 　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所又は所在地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名（法人等にあっては、法人名及び代表者名）

　このことについて、次のとおり報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 資金の種類 | １　公害防止施設整備資金　　　　　　２　低公害車導入整備資金 ３ （欠番）　　　　　　　　　　　 ４　（欠番）５ 資源有効利用施設整備資金 ６　産業廃棄物処理施設整備資金７　産業廃棄物共同処理施設整備資金　８　環境ＧＳ企業エコ改修資金９ ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理資金 |
| 借入金額 |  |
| 所要額 |  |
| 資金使途 |  |
| 借入年月日 |  |
| 完了年月日 |  |

 【添付書類】

１　工事又は設置（装着）完了写真 　 　　・着工又は設置前と同様な位置で撮影したもので、撮影年月日が示されたもの。

・低公害車の導入については、車両の対角線上２枚（正面と側面、背面と反対の側面でいずれ

も車両ナンバーが確認できるもの）で、撮影年月日が示されたもの。

２ 領収書の写

３　自動車検査証の写（低公害車を購入した場合に限る。）

４　廃棄物処理法第１２条の３第３項及び第４項又は第１２条の５第６項の産業廃棄物管理票の写

 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を処理した場合に限る。）

５　その他知事が必要と認めるもの。